
2020年1月期 第2四半期決算(連結)説明会

株式会社東京ドーム

目次

【2020年1月期 第2四半期決算 総括】

総括

【2020年1月期 第2四半期決算 実績】

2020年1月期 第2四半期概況

2020年1月期 第2四半期決算(連結) 実績

貸借対照表(連結)

キャッシュ・フロー(連結)

当社グループの事業セグメント

セグメント別売上高

セグメント別営業利益

事業セグメント トピックス

【2020年1月期 第2四半期決算 東京ドームシティ事業 トピックス】

フード＆コミュニティ『Hi!EVERYVALLEY』について

キャビンスタイルホテル『ファーストキャビン 東京ドームシティ』について

『東京ドーム グルメストリート』および東京ドーム内飲食店舗におけるプラスチックストローの提供廃止

『ふるさと祭り東京』外部展開について

【2020年1月期 第2四半期

東京ドームグループ 企業の取り組みに関するトピックス】

株式会社ソフトレック 完全子会社化について

パーソナルエージェントホールディングス株式会社および株式会社アドインテとの資本業務提携について

【2020年1月期 通期業績予想および配当予想】

2020年1月期 通期業績予想および配当予想

※参考資料

※資料内、表における増減比較は、1円単位で計算しているため、表の数字の増減と合わないことがあります。

2020年1月期 第2四半期決算 総括

(株)東京ドーム 代表取締役社長 執行役員
長岡 勤

総括

- ・ 中期経営計画「新機軸」について

ATAMI BAY RESORT KORAKUEN 営業状況および今後の取り組み

■タワー館

タワー館における宿泊・飲食等の売上は好調に推移し、客室稼働率も8割を超え、シーズンを問わず、多くのお客様にご利用いただいている。



■AQUA SQUARE (新館)

2019年3月28日にリニューアルオープンしたAQUA SQUAREだが、宿泊・スパともに目標値にはとどいていない状況が続いている。

・ 宿泊部門

課題として、ルームメイキング等の人手不足により、販売可能室数が十分に用意できていないことから宿泊稼働を伸ばし切れていない状況がある。外国人実習生の採用等、引き続き対策に取り組んでいく。



・スパ部門

Fuuaに対する認知度が低いため日帰りでの利用が想定より伸びていないが、利用されたお客様からは高い評価のお声をいただいております、施設への満足度は高い。



■ AQUA SQUAREにおける今後の販売促進強化施策

Fuuaと宿泊のセット販売を実施し、宿泊者からの売上・稼働率の更なる強化に努めていく。また、熱海市街での宣伝活動などを強化し、認知度を向上させ、地元住民や熱海に訪れる観光客の利用を促すことでFuua利用者数を増やしていく。

2020年1月期 第2四半期決算 実績

(株)東京ドーム 常務取締役 執行役員
小田切 吉隆

2020年1月期 第2四半期概況

○収支について

- ・ 期首予想を上回る業績で推移。

東京ドームにおけるMLB開幕戦の開催やコンサートイベント物販好調による

※期首予想 第2四半期（累計）

（単位：百万円）	20.1期 2Q	期首予想	増減
売上高	45,369	44,100	1,269
営業利益	6,304	5,600	704
経常利益	5,763	5,100	663
純利益	4,692	3,500	1,192

○設備投資について

- ・ 前期と比較し、熱海新館建設工事費用が減少。

○有利子負債残高について

- ・ 運転資金調達を前倒ししたことおよび手元資金を増加させたことにより前期末より増加。

2020年1月期 第2四半期決算(連結) 実績

(単位:百万円)

	20.1期 2Q	19.1期 2Q	増減	要因(19.1期 2Q比)
売上高	45,369	41,833	3,536	<増収要因> ・MLB開幕戦やオールスターゲームの開催 ・東京ドームのコンサートイベントにおける物販の好調 ・ATAMI BAY RESORT KORAKUENの開業 ・松戸競輪場における本場開催の好調 <増益要因> 【営業利益】 売上増加に伴う増益 【税前利益】 ・特別利益の固定資産売却益4億円強増加、 補助金収入3億円強増加
営業利益	6,304	5,929	375	
経常利益	5,763	5,371	392	
税金等調整前 当期純利益	7,156	5,952	1,204	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	4,692	4,171	521	
減価償却費	3,770	3,438	332	熱海新館工事の償却費(約200百万円) アトラクション2機種導入
設備投資額	4,576	8,270	△3,691	<20.1期2Q設備投資額の主な内容> 東京ドームリニューアル関連 「Hi!EVERYVALLEY」開業 <前年比減少要因> 熱海新館工事(前期)
有利子負債額	144,675	140,818	3,857	

貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

資産	20.1期 2Q	19.1 期末比	負債純資産	20.1期 2Q	19.1 期末比
流動資産	22,566	4,507	流動負債	57,427	△4,382
固定資産	278,833	△272	固定負債	140,708	5,508
有形固定資産	244,989	△570	負債合計	198,135	1,126
無形固定資産	1,261	△91	株主資本	40,151	3,141
投資その他の資産	32,583	390	その他の包括 利益累計額	65,083	23
繰延資産	1,969	54	土地再評価差額金	55,188	△97
			純資産合計	105,235	3,164
資産合計	303,370	4,290	負債純資産合計	303,370	4,290

※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

キャッシュ・フロー(連結)

(単位:百万円)

	20.1期 2Q	19.1期 2Q	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,326	1,614	712
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,337	△6,070	△267
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,409	△2,236	9,645
現金及び現金同等物の増減額	3,399	△6,691	10,090
現金及び現金同等物の期首残高	10,566	17,595	△7,029
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,965	10,904	3,061

当社グループの事業セグメント

東京ドームシティ事業

東京ドーム
LaQua
黄色いビル

東京ドームシティ アトラクションズ
MEETS PORT
東京ドームホテル 他

流通事業

shop in 他

不動産事業

アドホック新宿、プチモールニッ木
代々木イースト 他

熱海事業

ATAMI BAY RESORT KORAKUEN

競輪事業

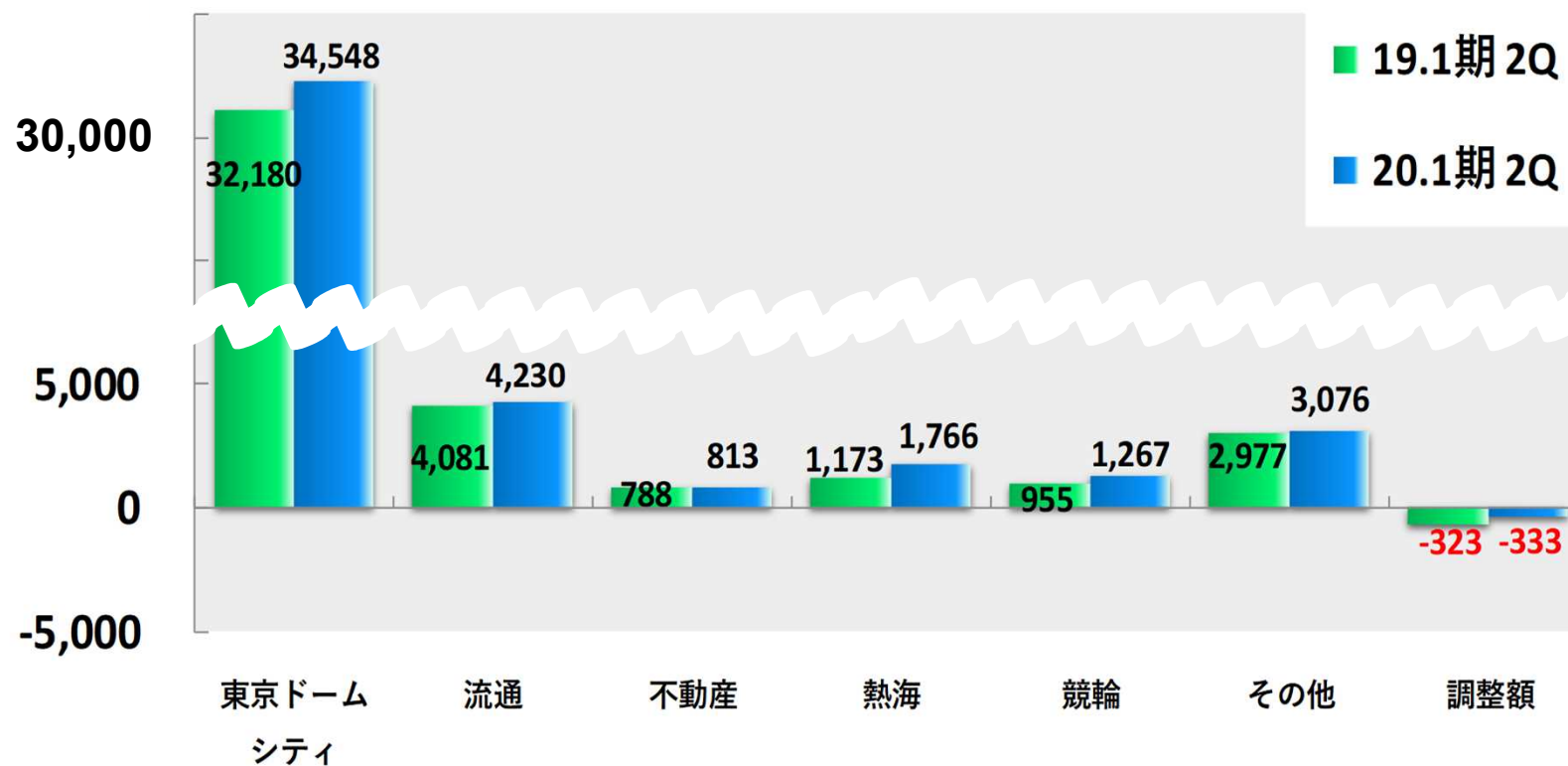
松戸競輪場 他

その他

スポーツ施設運営事業、
生命・損害・医療保険代理店事業、
有価証券の保有・管理事業 他

セグメント別売上高

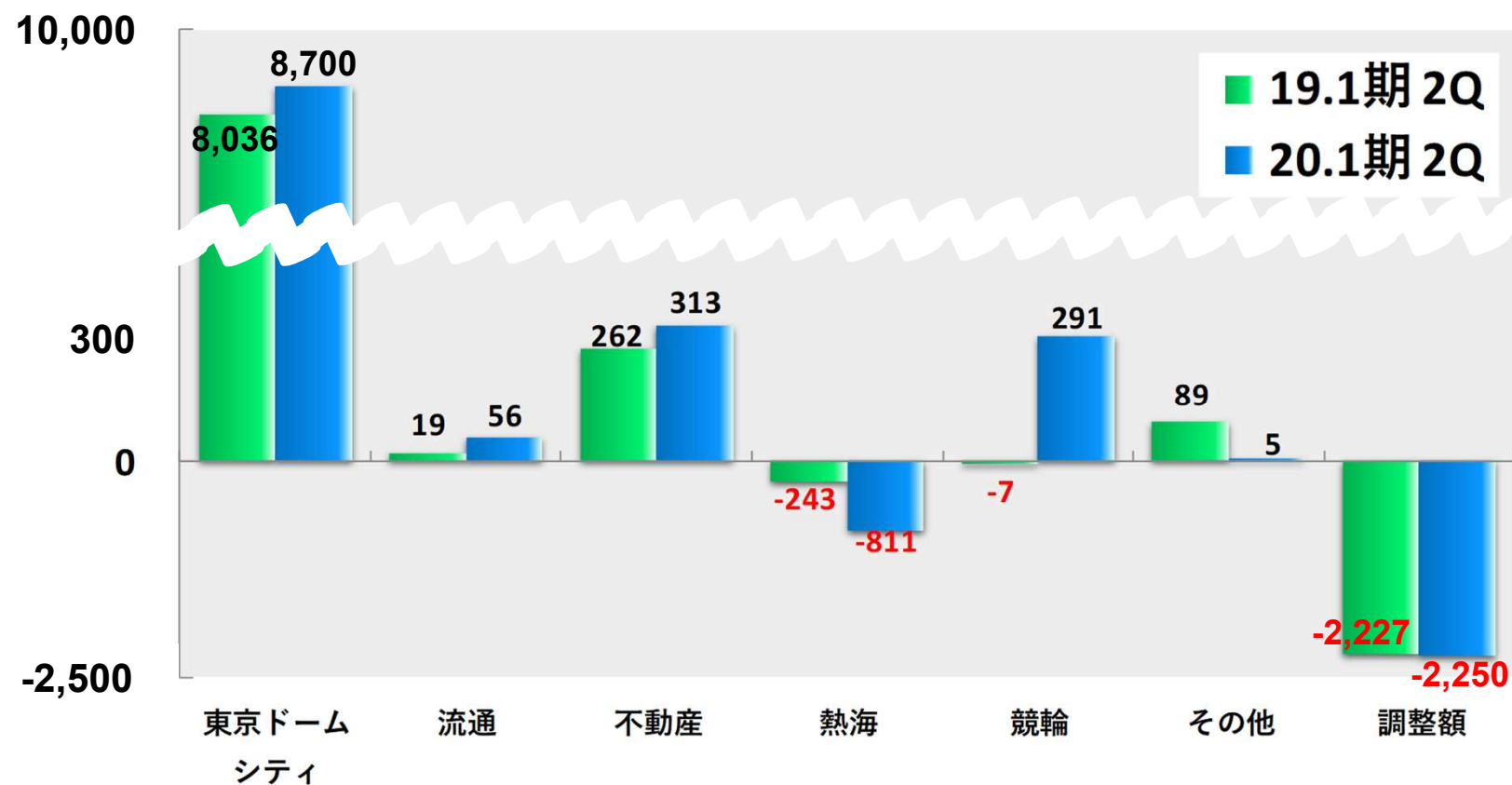
(単位: 百万円)



(注) 調整額にはセグメント間取引が含まれます。

セグメント別営業利益

(単位: 百万円)



(注) 調整額にはセグメント間取引が含まれます。

事業セグメント トピックス

○東京ドームシティ事業

- ・ MLB開幕戦関連やプロ野球の売上及びコンサートイベント関連商品の販売の好調
東京ドームシティ アトラクションズは、各アトラクションやシアターGロッソにおけるイベント開催による増収
東京ドームホテルにおける客室単価増による増収
Spa LaQuaにおける入館者増および入館料収入・飲食店売上の好調による増収
「ファーストキャビン 東京ドームシティ」「Hi!EVERYVALLEY（ハイ！エブリバレー）」の開業

○流通事業

- ・ 既存店の好調により増収

○不動産事業

- ・ テナントの稼働が堅調に推移し前期並み

○熱海事業

- ・ 「ATAMI BAY RESORT KORAKUEN」開業により増収となったが、開業に伴う諸経費の増加により減益

○競輪事業

- ・ 松戸競輪は、日本選手権及び千葉市営競輪の代替開催により増収

○その他

- ・ 公共施設の運営を請け負う指定管理事業について、休館施設の再稼働や運営受託施設が増加したこと等により増収となったが、業務委託費等の諸経費の増加により減益

2020年1月期 第2四半期決算 東京ドームシティ事業 トピックス

(株)東京ドーム 専務取締役 執行役員
萩原 実

フード&コミュニティ 『Hi!EVERYVALLEY』 について

■ 概要

コンテナを用いた複数の飲食店を中心に、緑やアートなどに囲われたフード＆コミュニティ空間。

店 舗：6店舗 [フードコンテナ 4店舗、ケータリングカー 2店舗]

■オープン（2019年3月15日）からの営業状況

第2四半期までの売上は、Hi!EVERYVALLEYにある6店舗全体で、目標売上を達成しており、概ね堅調に推移している。特にコンサート開催日の開場前の時間に利用されるお客様が多く、コンサート開催日の売上が好調。

また、リニューアル前と比べ、環境が改善され、東京ドームシティに訪れるお客様が利用しやすいスペースに生まれ変わった。



キャビンスタイルホテル 『ファーストキャビン 東京ドームシティ』 について

■概要

「コンパクト＆ラグジュアリー」をコンセプトに飛行機のファーストクラスをイメージした新スタイルのキャビンスタイルホテル。低料金ながら充実したサービスを提供する3種類のキャビンがあり、お客様の多彩なニーズに対応する。

■オープン（2019年3月15日）からの営業状況

第2四半期までの売上は、予算比でおよそ56%。稼働率は予算のおよそ60%程度にとどまった。

また、お客様のおよそ半数がビジネスで利用されている。



『東京ドーム グルメストリート』および 東京ドーム内飲食店舗におけるプラスチックストローの提供廃止

東京ドーム グルメストリート

■概要

2019年3月17日に東京ドーム1Fコンコースに新たにオープンした食の新エリア。24店舗からなるこのエリアには、国際色豊かな料理・スイーツなど様々なジャンルのお店が立ち並び、東京ドームご来場のたびに、新しい味をお楽しみいただける。



■オープン（2019年3月17日）からの営業状況

前年に比べ1Fコンコース飲食店舗の売上・客数ともに増加しており、新たなお客様を獲得できており、堅調に推移している。

東京ドーム内飲食店舗におけるプラスチックストローの提供廃止

東京ドームグループは、事業活動で発生する環境負荷の低減に向けて、様々な環境保全活動にグループを挙げて取り組んでおり、その取り組みの一環として、東京ドーム内飲食店舗では、2019年4月2日からプラスチックストローの提供を廃止し、排出されるプラスチックゴミの削減に努めている。

『ふるさと祭り東京』 外部展開について

『ふるさと祭り東京』は近年、業容拡大を目的に外部でイベントを開催し、収益向上に努めている。

2019年6月にはシンガポールの旗艦IR施設「リゾート・ワールド・セントーサ」で、『RWS SUMMER MATSURI』が開催され、コンテンツとして『ふるさと祭り東京』が参加。



過去3年における『ふるさと祭り東京』 関連の外部展開実績

開催期間	イベント名	開催場所
2017年12月19日～24日	年末旨いもの博 まるごと北海道	香川県高松市（サンメッセ香川）
2018年4月14日～22日	全国ご当地グルメッセin高松	香川県高松市（サンメッセ香川）
2018年12月19日～23日	年末旨いもの博 北海道まるごと市場	香川県高松市（サンメッセ香川）
2019年4月26日～5月1日	全国ご当地グルメッセin高松	香川県高松市（サンメッセ香川）
2019年6月6日～9日	RWS SUMMER MATSURI	シンガポール・セントーサ島 （リゾートワールドセントーサ）
2019年8月8日～13日	全国ご当地グルメッセin静岡	静岡県静岡市（ツインメッセ静岡）
2019年9月18日～23日	全国ご当地グルメッセin仙台	宮城県仙台市（夢メッセみやぎ）

2020年1月期 第2四半期
東京ドームグループ
企業の取り組みに関するトピックス

(株)東京ドーム 代表取締役副社長 執行役員
野村 龍介

株式会社ソフトレック 完全子会社化について

2019年4月25日付で、株式会社ソフトレックを完全子会社化（非連結）し、同年8月16日付で、社名を株式会社東京ドーム I Tソリューションズに変更した。

■完全子会社化の目的

- ・ I Tを活用できる人材の確保および育成
- ・ I T事業への多角化の可能性
(当社グループのハウスエージェンシーだけでなく、社外からの売上獲得を狙う)

パーソナルエージェントホールディングス株式会社 および株式会社アドインテとの資本業務提携について

■パーソナルエージェントホールディングス株式会社との資本業務提携の目的

- ・ HR（ヒューマン・リソース）テックサービスに関するシステムの共同開発
- ・ 開発したシステムの両社グループへの導入および外部販売
- ・ 人的資源確保および新たな収益源の獲得

■株式会社アドインテとの資本業務提携の目的

- ・アドインテ社の IoT 端末の「AIBeacon（エーアイビーコン）」を活用した行動分析技術と、大きな集客力を持つ当社事業が連携し、新たなマーケティングを展開することでの両社の事業価値向上
- ・来場者属性や行動分析を活用したマーケティング活動



子会社化や資本業務提携についての今後の方針

既存事業の拡大や新たな事業の開発に繋がる可能性がある場合は、今後も積極的に検討していきたいと考えている。

2020年1月期 通期業績予想および配当予想

(株)東京ドーム 代表取締役副社長 執行役員
野村 龍介

2020年1月期 通期業績予想および配当予想

(単位:百万円)

	20.1期 予想	19.1期 実績	増減	要因(19.1期比)
売上高	90,200	87,048	3,152	【売上高】 ・「ATAMI BAY RESORT KORAKUEN」、 「Hi!EVERYVALLEY」、「ファーストキャビン 東京ドーム シティ」のオープンや、新アトラクション2機種の導入効果 【営業利益】 ・売上増も、減価償却費の増加や、種々の開業に伴う費用 計上等による 【当期純利益】 ・法人税等の増加による ※今期業績予想からの主な変動要因 ・プロ野球ポストシーズンゲームの開催 ・東京ドームイベント関連収入の増加
営業利益	12,200	11,481	719	
経常利益	11,100	10,402	698	
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,100	6,962	138	
配当	16円	16円	0円	
減価償却費	7,700	6,902	798	熱海新館、アトラクション2機種
設備投資額	6,800	17,176	△10,376	20.1期設備投資 東京ドーム人工芝リニューアル、黄色いビル1F転換工事
有利子負債	133,100	134,378	△1,278	

※2019年8月29日に業績予想及び配当予想の修正

質疑応答

Q.東京ドームホテルの宿泊稼働率およびADRを教えてください

A.宿泊稼働率は88.4%（前年同期88.7%）、ADRは¥16,093（前年同期¥15,786）。

Q.インバウンドの影響や、スポーツの国際大会開催を受けての、東京ドームホテルの今後の見通しを教えてください。

A.インバウンドについては、中国の方の利用がメインで、韓国の方の利用は多くないので韓国の影響は少ない。スポーツの国際大会については稼働確保の一助にはなっている。

Q.東京五輪開催中の、スペース活用について教えてください。

A.東京五輪関連イベントの開催予定はない。報道されたように高校野球選手権東・西東京大会の準決勝と決勝は東京ドームで開催予定。また開催期間中の東京ドームの利用については引き合いが来ている。

この資料に関するご質問、その他ご意見等ございましたら下記に
お問い合わせください。

お問い合わせ先 (株)東京ドーム 広報IR室

TEL (03)3817-6030 FAX (03)3817-6022

E-MAIL koho-ir@gms.tokyo-dome.co.jp

予測に関する注意事項

- 本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料(業績予想等を含む)は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。
- ご利用に際しましては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しましても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権は(株)東京ドームに帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

参考資料

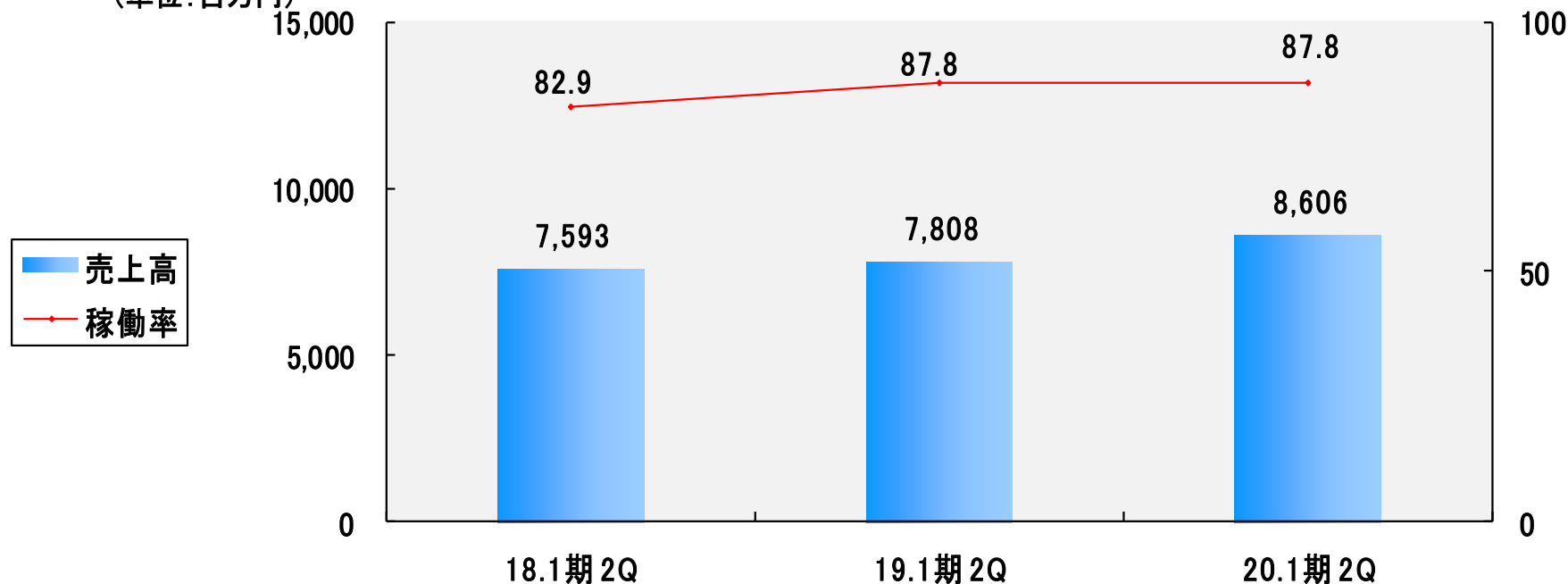


TOKYO DOME GROUP

東京ドーム

(単位:百万円)

(単位:%)



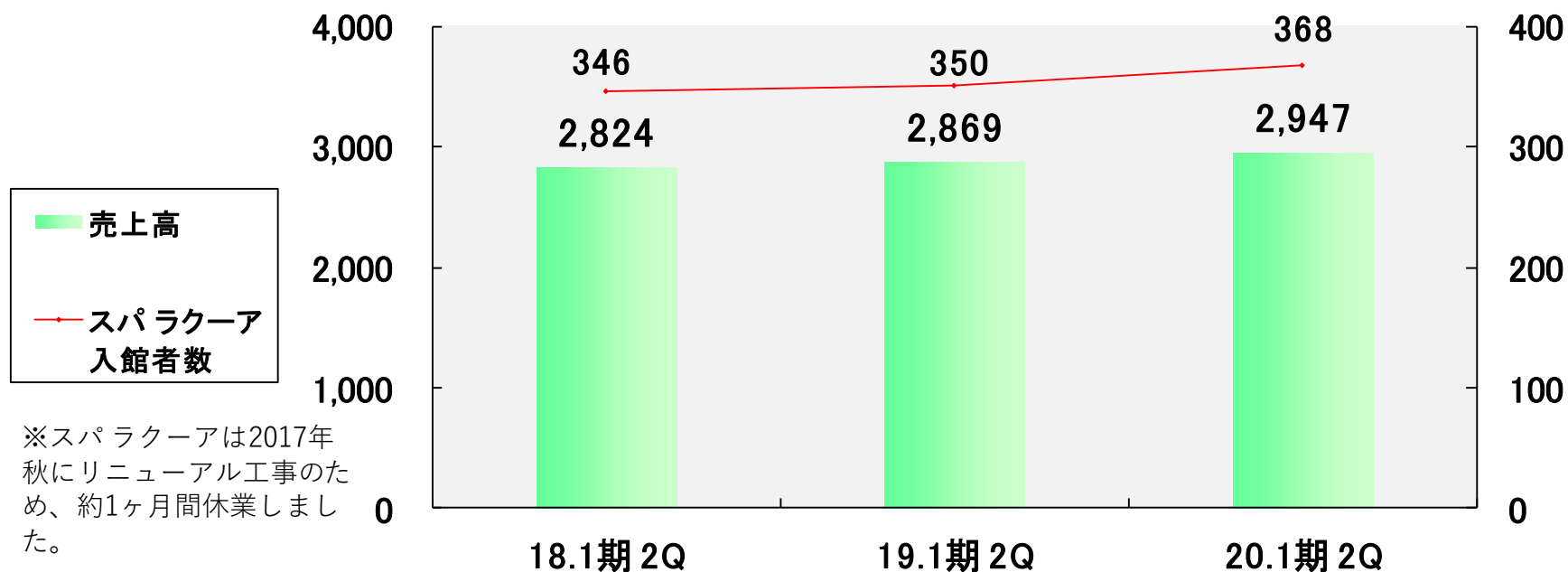
ジャンル別稼働日数	18.1期 2Q	19.1期 2Q	20.1期 2Q	20.1期2Q 計画値	予算比
プロ野球 [巨人ペナント戦]	58 [39]	57 [42]	60 [45]	60 [45]	0 [0]
その他野球	23	25	26	25	1
コンサートイベント ※	44 (21)	51 (27)	46 (24)	47 (28)	△1 (△4)
その他イベント ※	25 (19)	26 (19)	27 (20)	24 (18)	3 (2)
合計	150	159	159	156	3

※ 設営日、撤去日を含む。()内は、イベント開催日数

LaQua(ラクーア)

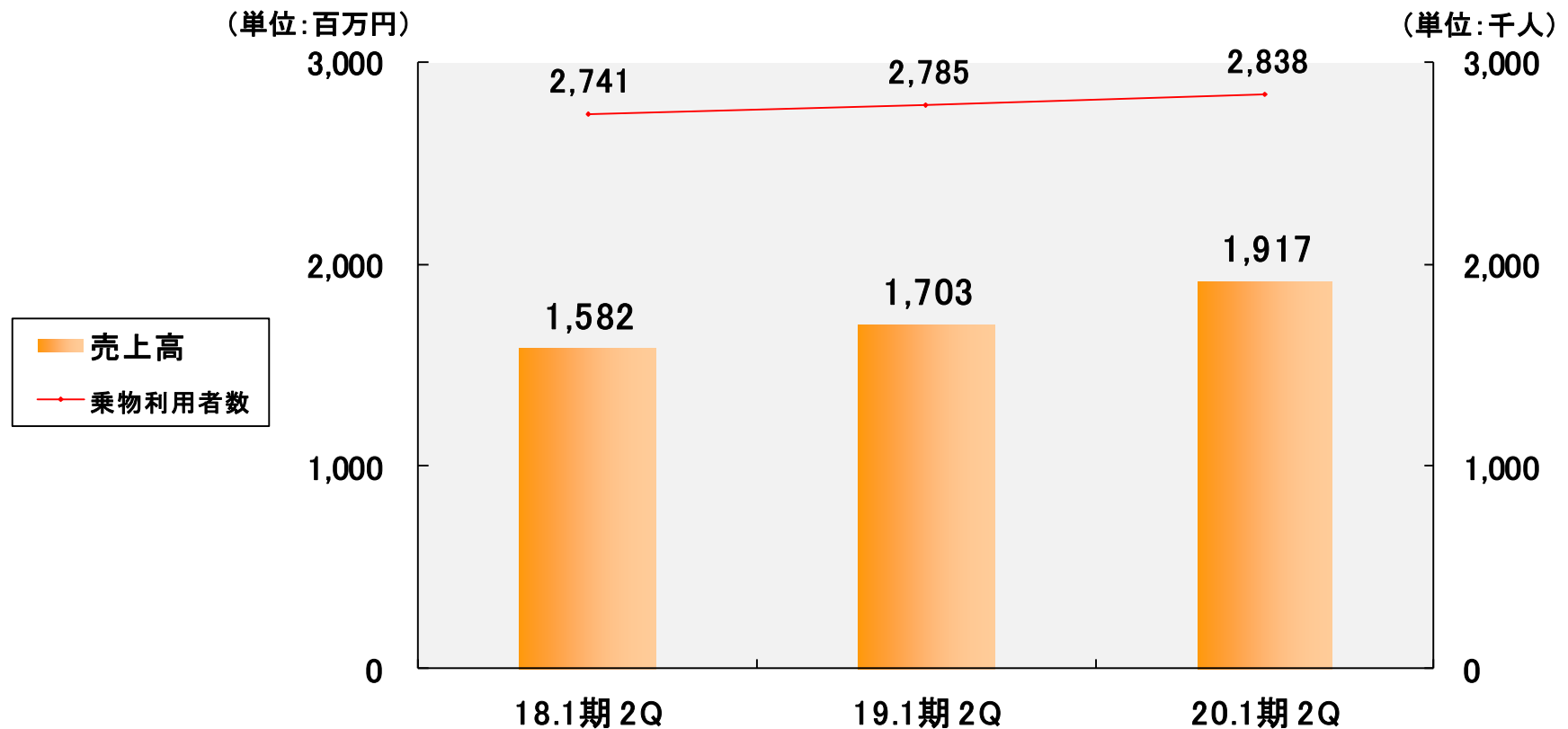
(単位:百万円)

(単位:千人)



参考	18.1期 2Q	19.1期 2Q	20.1期 2Q
来街者数(千人)	6,970	7,230	7,410
各テナント売上合計(百万円)	6,708	6,626	6,759

東京ドームシティ アトラクションズ、ASOBono!(アソボーノ)

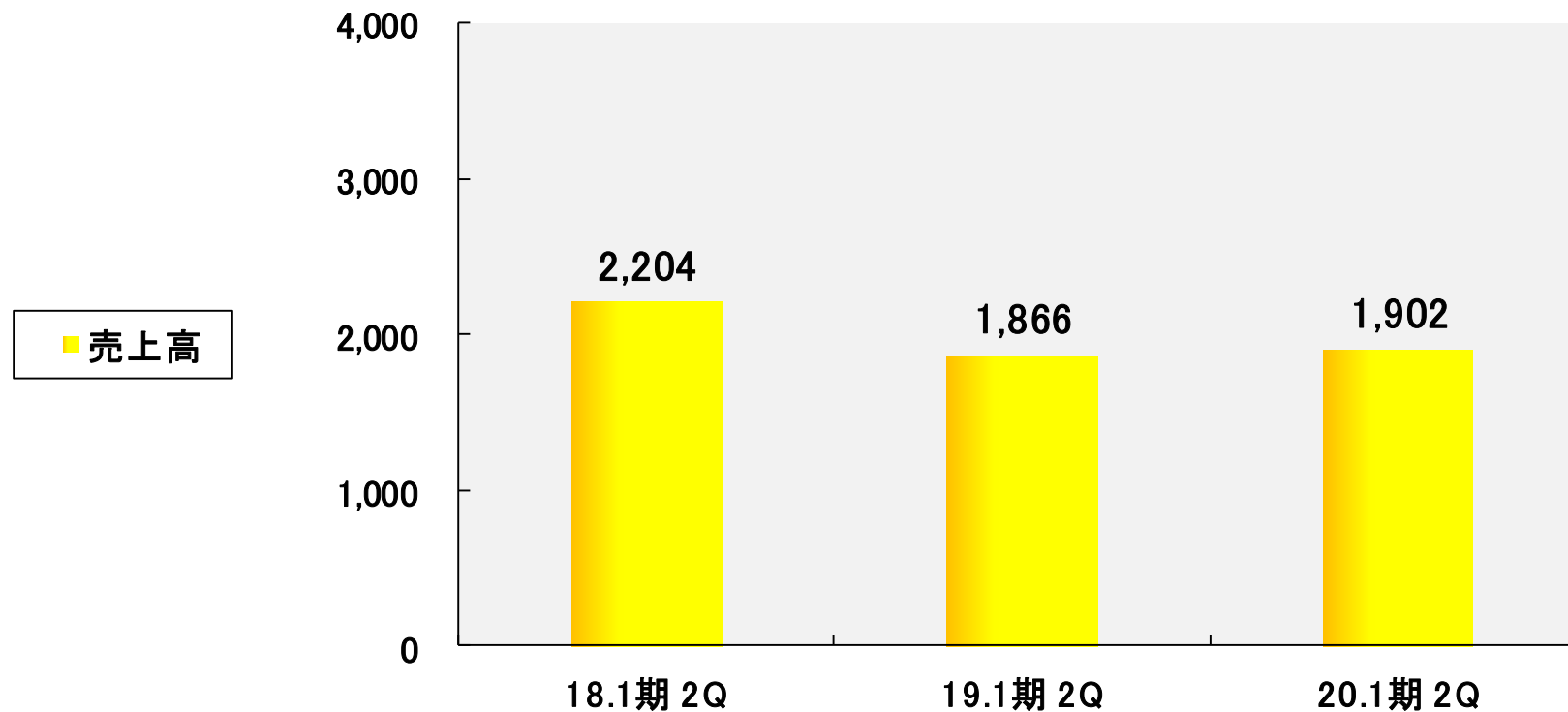


売上高内訳 (百万円)	18.1期 2Q	19.1期 2Q	20.1期 2Q
東京ドームシティ アトラクションズ 売上高	1,403	1,515	1,726
ASOBono! 売上高	178	187	190

黄色いビル

※売上高の主な内訳は、場外馬券場の賃貸収入となっております。

(単位:百万円)

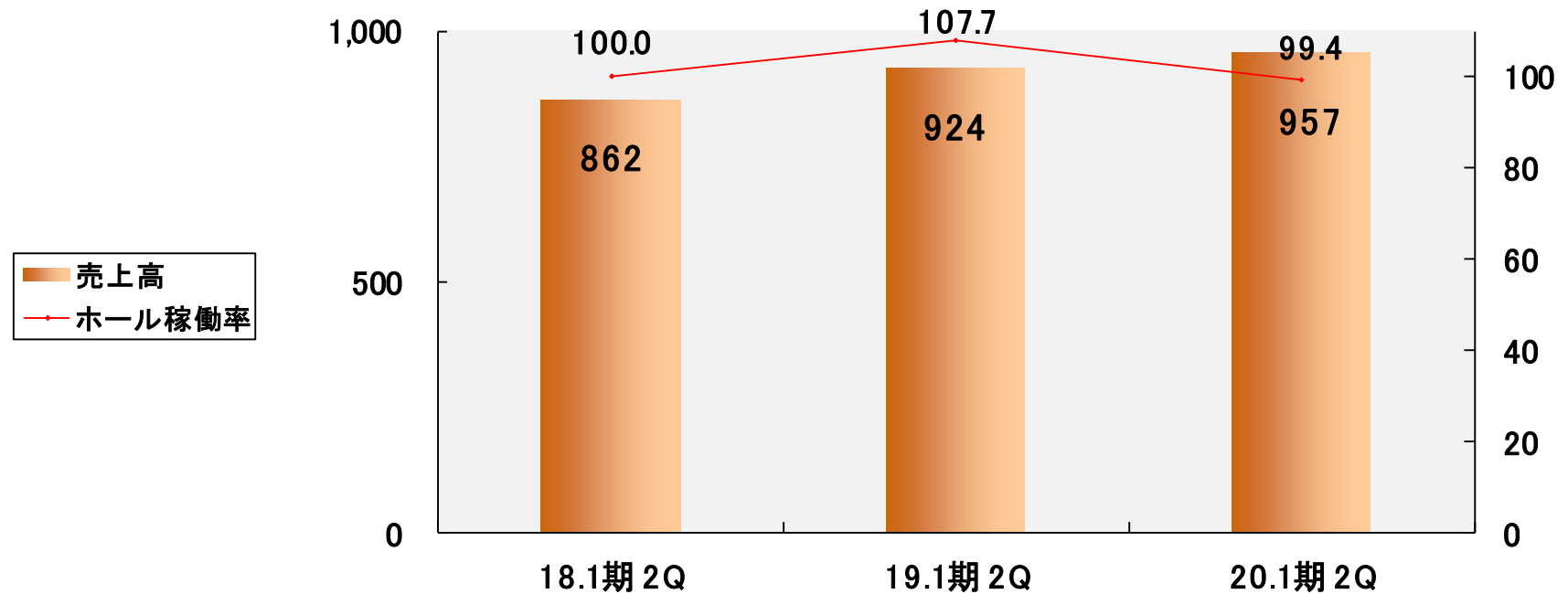


参考	18.1期 2Q	19.1期 2Q	20.1期 2Q
ウインズ開催日数	54	54	54
オフト開催日数	134	134	132

MEETS PORT(ミーツポート)

(単位:百万円)

(単位:%)

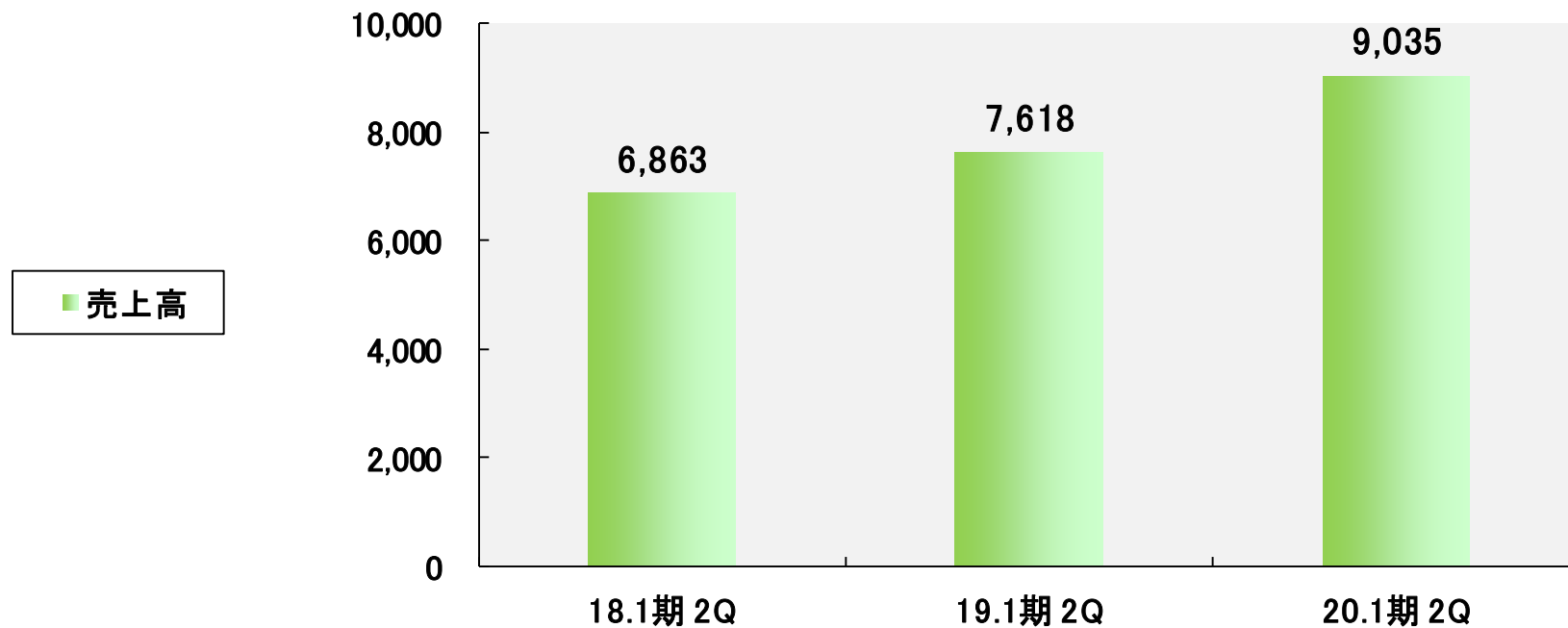


参考	18.1期 2Q	19.1期 2Q	20.1期 2Q
ホール稼働回数 ※	181 (137)	195 (154)	180 (144)
ホール入場者数(千人)	237	280	273
各テナント売上合計(百万円)	2,818	3,226	3,341

※ 設営、撤去を含む。()内は、イベント開催回数

飲食 & 物販

(単位: 百万円)

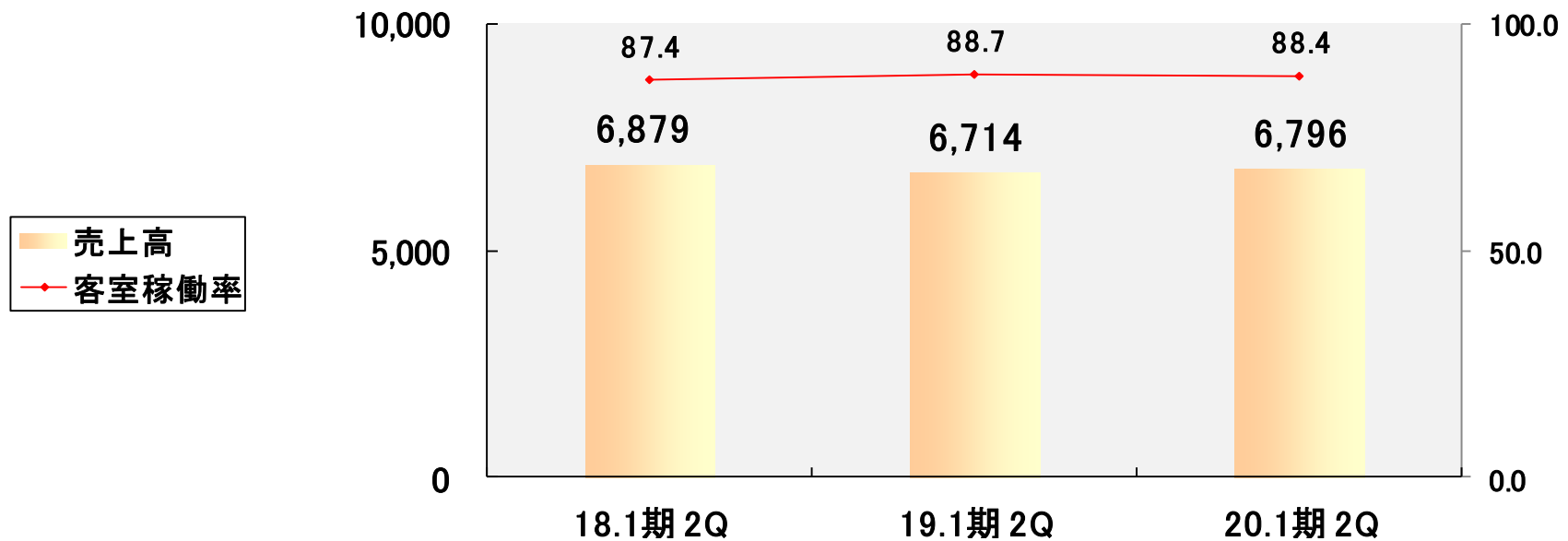


売上高内訳 (百万円)	18.1期 2Q	19.1期 2Q	20.1期 2Q
東京ドームエリア	6,320	7,085	8,477
黄色いビルエリア	188	163	149
アトラクションズエリア	206	207	242
後楽園ホールビルエリア	57	56	55
その他	91	106	109

東京ドームホテル

(単位:百万円)

(単位:%)

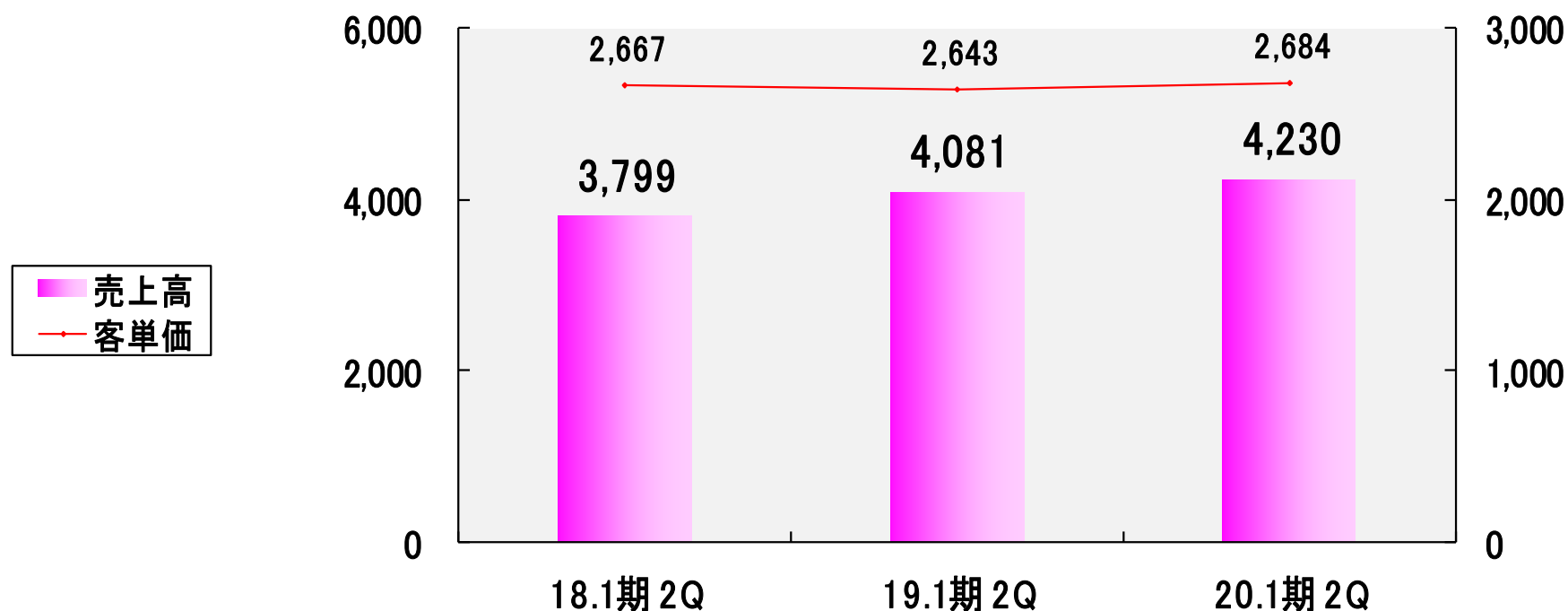


参考	18.1期 2Q	19.1期 2Q	20.1期 2Q
宿泊者数(千人)	253	260	262
宴会件数	1,106	1,106	1,033
婚礼件数	116	117	93

流通事業 shop in(ショッピング)等

(単位:百万円)

(単位:円)



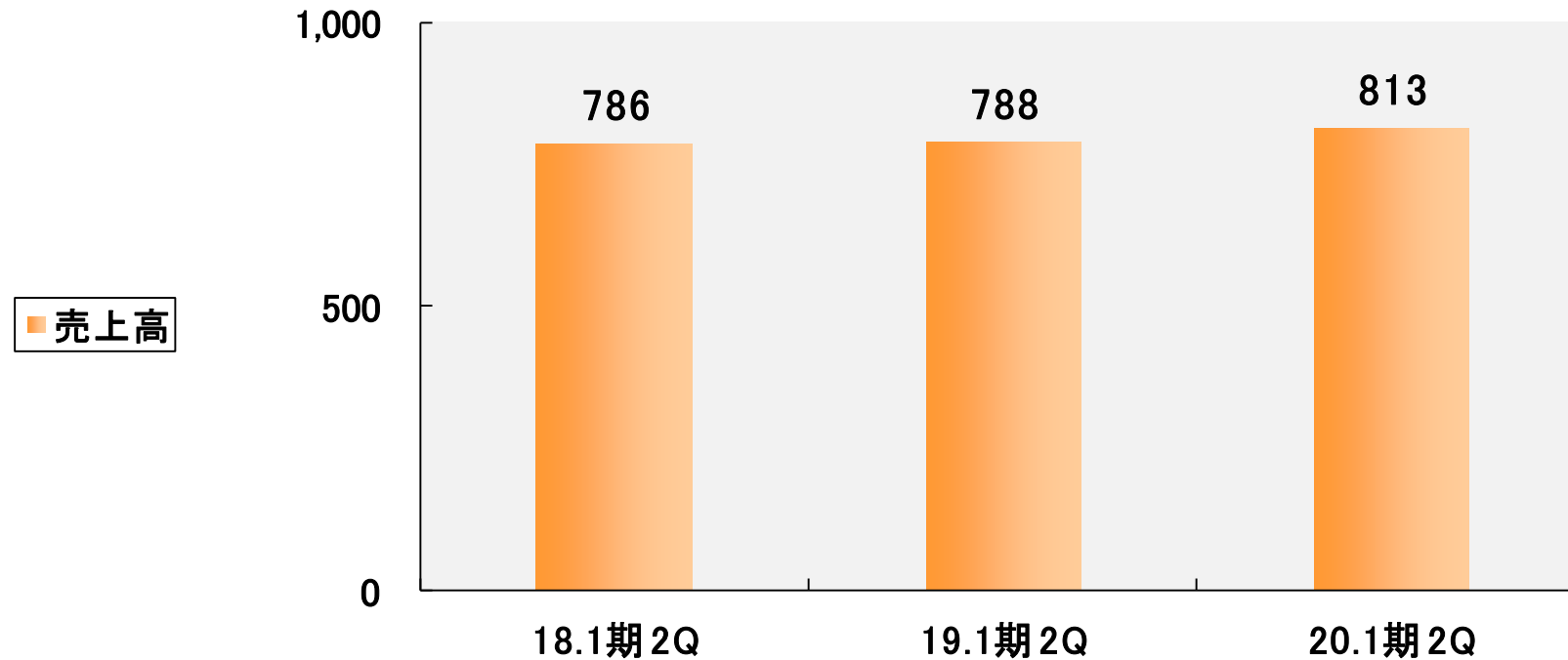
参考	18.1期 2Q	19.1期 2Q	20.1期 2Q
月坪売上(千円)	388	420	444
店舗数	42	42	42

■ 新 規 出 店：神戸ハーバーランドumie店(19年7月12日)

■ 退 店：グランツリー武蔵小杉店(19年6月23日)

不動産事業

(単位:百万円)



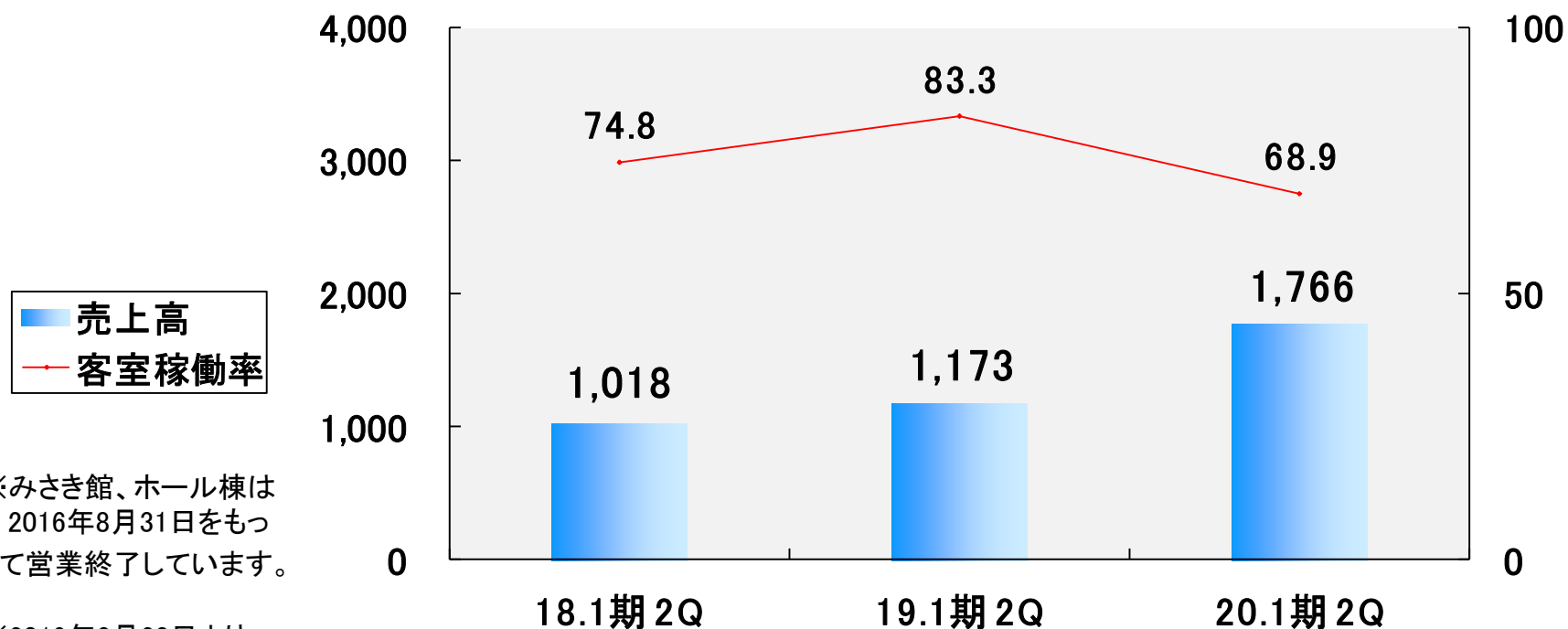
主な所有物件

- ・アドホック新宿(新宿区)
- ・プチモールニツ木(松戸市)
- ・代々木イースト(渋谷区)
- ・市ヶ谷ビル(新宿区)
- ・柿の木坂BMW(目黒区)
- ・相模原ビル(相模原市)

熱海事業 熱海後樂園ホテル

(単位:百万円)

(単位:%)

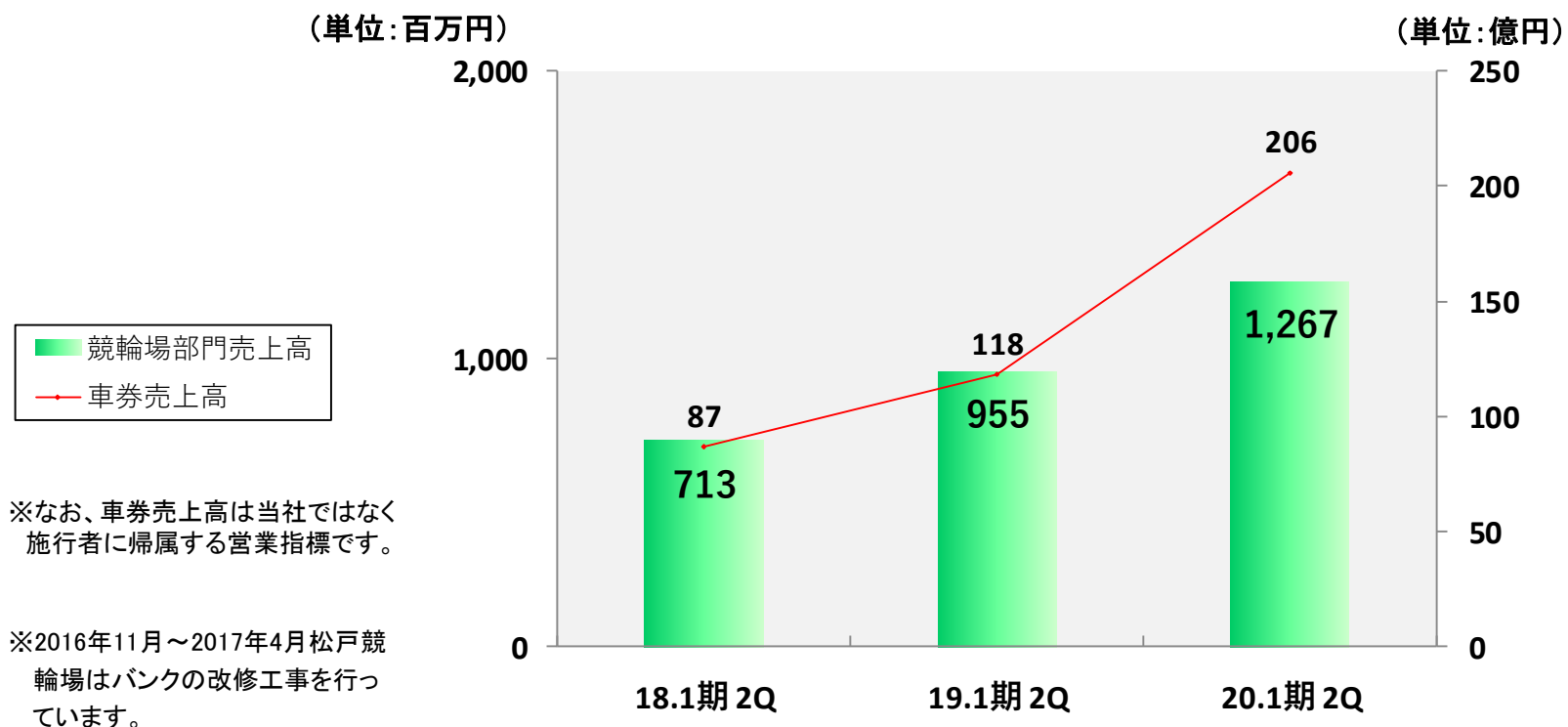


※みさき館、ホール棟は
2016年8月31日をもっ
て営業終了しています。

※2019年3月28日より、
新館「AQUA SQUARE」
が営業開始しています。

参考	18.1期 2Q	19.1期 2Q	20.1期 2Q
宿泊者数(千人)	35	39	54

競輪事業 松戸競輪場



競輪場部門売上高内訳 (百万円)	18.1期 2Q	19.1期 2Q	20.1期 2Q
賃貸収入	188	246	368
運営受託収入	408	594	777
その他収入	117	113	122